



“やらされ感のコンプライアンス” から “元気の出るコンプライアンス” へ

コンプライアンスがイコール法令遵守でないことは、多くの識者・専門家が指摘してきたところであり、その限りでの共通認識は今日では一応できている、とあってよいでしょう。単なる法令の遵守ではなく、広義の意味では社会的要請に対して企業の社会的責任として応えていくことであり、たとえば不祥事防止に対しては、必要な予防措置を事前にとることなど企業としてのリスク管理にも及んできます。ひとつの「法令」が定められる背景にはなんらかの社会的要請があり、法令の規定をそのまま「遵守」すれば事が足りるということではなく、法令の趣旨・目的については制定の背景をも含めて理解したうえで、その対応が必要というわけです。

すなわち「知識」よりも「意識」が重要とされるゆえんでもありますが、これまでのコンプライアンス研修のプログラムは、どちらかといえば知識に重きを置いた上から下への一方通行が多かったことは否定できません。最近になってようやく、職場単位でも意識覚醒に資するような取り組みが一部でなされるようになりましたが、いまだ十分に定着しているとはいえない状況にあるといえましょう。

この一人ひとりが考えることに関しては、『それでも企業不祥事が起こる理由』（國廣 正著、日本経済新聞社刊）の中で、上から強制される「やらされ感」の強い研修ではなく、社員のモラル向上が企業の持続的成長につながるように「元気の出る」コンプライアンスとして実務が展開されることが本来であるとし、考えるコンプライアンスの重要性が強調されています。また、『思考停止社会—「遵守」に蝕まれる日本』（郷原信郎著、講談社現代新書）では、「法令遵守」の掛け声があたかも水戸黄門の「印籠」（＝この紋所が目に入らぬか！）のような働きをし、これがマスメディアをも巻き込んで法令以外の社会規範にまで拡大、遵守の名のもとに社会全体が何も考えない「思考停止」の状態に陥っていることへの警鐘を鳴らしています。

金融庁が作成・公表している「金融検査指摘事例集」の昨年版でも、法令等遵守態勢の中に「コンプライアンス・プログラムの整備・周知はしているが検証が不十分」等の指摘がありました。コンプライアンス統括部門、営業店ともども、新しい年は形式的な「やらされ感」から脱し、新しいステージでの一歩すすんだ元気の出る「考えるコンプライアンス」を指向していただきたいと思えます。

コンプライアンス・オフィサー認定試験 成績結果

昨年10月24日（日）実施の〈第23回〉コンプライアンス・オフィサー認定試験の成績結果がまとまりましたので、発表いたします。

●金融コンプライアンス・オフィサー1級

成績結果は、〔表-1〕のとおりです。

応募者数1,086名中受験者は832名で、認定者は252名でした。認定率は30.29%、平均点は53.20点で、前回並の結果となりました。今回の業態別結果としましては、信組、信連・農協の認定率の低さが目立ちます。

問題では、〔問題-5〕会社法上の預払い罪・応預払い罪、〔問題-6〕保証契約と利益相反取引の2問が、4点台と低調でしたが、そのほかは概ね良好でした。

〔問題-5〕は、預払い罪・応預払い罪の定義および要件を記述し、それを事例に当て嵌めてその成否を問うものですが、要件をあげず、ただだんにその成否を述べている解答、また、過去において出題した最高裁判例（最判昭和42.12.14）を引用して預払い罪にならないとする解答が少なからずあり、預払い罪が禁止される理由（資本充実の原則等）を述べたものは皆無でした。問題解説集に掲載されている過去の問題に目が奪われ、預払い罪・応預払い罪の禁止される理由・定義・要件等に思い至らないように思われます。

〔問題-6〕は、取締役会設置会社との連帯保証契約を締結するにあたっての金融機関が行う確認手続の問題ですが、成績結果は両極端に分かれました。その原因としては、会社法上の利益相反行為、取締役会設置会社の機能についての知識の有無が考えられます。会社法施行後4年以上が経過し、また、利益相反行為は旧商法でもその概念は変わっていないことを考えると、さらなる学習が必要とされます。

全体的にみると、個々の問題につきその問題点の整理がなされていない答案が目立ちました。過去の解答例だけを覚えるのではなく、法律構造・実務の取扱い等立体的な理解が求められます。

●金融コンプライアンス・オフィサー2級

成績結果は、〔表-2〕のとおりです。

応募者数8,575名中受験者は7,693名で、認定者は5,785名でした。認定率は75.20%、平均点67.46点で、目標値に比べても高い認定率となりました。認定率を下回った業態は、第二地銀(69%)、信組(55%)、信連・農協(59%)でした。

正答率が30%を下回った問題は、〔問-23〕大口信用供与規制の1問のみで、前回より5問減少しました。

大口信用供与規制は、出題頻度の高い問題ですが、4択一式で出題していたものを組合せ式で出題したため、正答率が60%台から20%台に低下しました。

また、受験者の方が誤解しているものとしては、〔問-12〕約款取引の問題があげられます。この問題は預金規定等が中心でしたが、規制緩和にもとづく消費者保護の流れから、金融機関に対しては逆に規制強化の面も出てきているにもかかわらず、規定に対する理解不足、特に改正された規定に対する理解不足が感じられます。

●保険コンプライアンス・オフィサー2級

成績結果は、〔表-3〕のとおりです。

応募者数1,377名、受験者数1,186名、認定者数383名で、認定率32.29%という過去最低の認定率となりました。

認定率は、前回の62.32%から30.0ポイント減少したことになります。

前回と今回を比べてみると30%以下の問題が5問と同数ですが、80%以上の正答率の問題が前回より4問減少し7問あったことや、全体的に正答率が低いこともあり、今回の結果となったといえます。

正答率30%以下の問題のうち、〔問-30〕告知義務違反による解除、〔問-31〕死亡保険金の支払免責事由は、昨年4月に施行された保険法の問題でしたが、新規問題であったことと10月時点では各保険会社は死亡保険金等支払管理に重点が置かれた態勢であったため、契約の締結・保全面での学習が追いつけなかったことなどの原因から、ともに10%台の正答率となりました。

また、〔問-40〕の損害保険代理店の自己契

約・特定契約は、従来4 答択一式あるいは個数を問う形式で出題しており平均で50%を超える正答率でしたが、今回は4 答択一式で内容的にはほぼ同じ選択肢であるにもかかわらず低調でした。括弧内の記述が誤りの理由というのも一因に挙げられるかもしれません。

〔問-42〕の使用者責任は個数を問うもので、使用者責任と保険業法の「特別利益の提供」とを組み合わせた問題ですが、保険業法300条

1号～3号までしか刑事罰を受けず、4号の「特別利益の提供」は保険会社に対する行政罰のみが適用されることの理解不足によるものと考えられます。

〔問-47〕保険募集人の登録拒否事由も、その資格とともに従来から個数を問う形式で出題しているもので、かつ正答率も高いものでしたが、今回に限り低調でした。「登録拒否」と「取消」を誤解したものと考えられます。

〔表-1〕金融コンプライアンス・オフィサー1級・業態別成績一覧表

	都特	銀地	銀地	信託	第地	二銀	信金	信組	信連	農協	労金	生保	証保	証券	他団体	個人	全体
応募者数(名)	28	371	44	131	216	40	77	17	8	0	154	1,086					
応募比率(%)	2.58	34.16	4.05	12.06	19.89	3.68	7.09	1.57	0.74	0.00	14.18	100.00					
受験者数(名)	19	283	23	101	171	32	65	10	7	0	121	832					
受験率(%)	67.86	76.28	52.27	77.10	79.17	80.00	84.42	58.82	87.50	0.00	78.57	76.61					
認定者数(名)	10	93	9	32	46	5	14	6	3	0	34	252					
認定率(%)	52.63	32.86	39.13	31.68	26.90	15.63	21.54	60.00	42.86	0.00	28.10	30.29					
平均点(点)	58.58	54.47	54.22	53.53	53.02	48.91	48.32	55.10	55.71	0.00	52.62	53.20					
年齢(歳)	46.1	38.9	40.3	41.9	42.5	42.9	41.8	37.8	44.7	0.0	44.9	41.5					
勤続年数(年)	23.5	15.5	17.1	19.2	19.7	17.9	18.8	14.0	22.6	0.0	18.2	17.8					

〔表-2〕金融コンプライアンス・オフィサー2級・業態別成績一覧表

	都特	銀地	銀地	信託	第地	二銀	信金	信組	信連	農協	労金	生保	証保	証券	他団体	個人	全体
応募者数(名)	666	1,801	225	579	1,825	760	1,630	158	21	9	901	8,575					
応募比率(%)	7.77	21.00	2.62	6.75	21.28	8.86	19.01	1.84	0.24	0.10	10.51	100.00					
受験者数(名)	622	1,578	195	503	1,645	678	1,508	141	17	8	798	7,693					
受験率(%)	93.39	87.62	86.67	86.87	90.14	89.21	92.52	89.24	80.95	88.89	88.57	89.71					
認定者数(名)	589	1,307	179	348	1,254	374	904	117	17	5	691	5,785					
認定率(%)	94.69	82.83	91.79	69.18	76.23	55.16	59.95	82.98	100.00	62.50	86.59	75.20					
平均点(点)	76.66	69.49	74.55	64.45	67.51	61.18	62.38	69.33	74.24	70.75	70.80	67.46					
年齢(歳)	40.7	32.7	29.5	30.0	36.2	32.3	39.0	32.9	41.2	29.8	37.3	35.5					
勤続年数(年)	17.5	9.3	6.3	7.4	13.8	9.5	16.1	9.2	18.1	6.4	11.5	12.2					

〔表-3〕保険コンプライアンス・オフィサー2級・業態別成績一覧表

	都特	銀地	銀地	信託	第地	二銀	信金	信組	信連	農協	労金	生保	証保	証券	他団体	個人	全体
応募者数(名)	0	95	0	6	103	19	169	1	661	0	323	1,377					
応募比率(%)	0.00	6.90	0.00	0.44	7.48	1.38	12.27	0.07	48.00	0.00	23.46	100.00					
受験者数(名)	0	88	0	5	95	16	149	1	559	0	273	1,186					
受験率(%)	0.00	92.63	0.00	83.33	92.23	84.21	88.17	100.00	84.57	0.00	84.52	86.13					
認定者数(名)	0	30	0	0	20	1	22	0	206	0	104	383					
認定率(%)	0.00	34.09	0.00	0.00	21.05	6.25	14.77	0.00	36.85	0.00	38.10	32.29					
平均点(点)	0.00	53.91	0.00	41.60	51.43	44.13	47.11	40.00	55.36	0.00	55.61	53.74					
年齢(歳)	0.0	38.1	0.0	39.0	39.7	38.6	36.1	28.0	41.9	0.0	41.2	40.5					
勤続年数(年)	0.0	15.5	0.0	11.6	16.6	16.4	13.3	4.0	17.7	0.0	16.1	16.5					

* 認定基準は60点(以上)です。表中の平均点・年齢・勤続年数は受験者の数値です。

新興国へのCSR対策にシフト

～2010年BSR年次大会から～



BSR (Business for Social Responsibility) 年次大会は、2010年11月2日から5日まで、ニューヨークで開催され、今回も取材を兼ねて弊社からも参加しました。大会には世界各国のCSR関係者が集まり、参加者は講演や分科会、そして参加者との情報交換を通じ、CSRの諸問題に関する新しいアイデアや実践的な問題解決方法等を探ります。今年是企业、NGO、大学、行政等から1,100人の参加者で盛大に行われました。

今年の参加者の最大の関心は「中国(市場)」でした。背景には、中国に進出した欧米企業が抱える労働問題、環境問題等が挙げられます。この大会の1週間前には名古屋で「生物多様性条約締約国会議(COP10)」が、そして1ヵ月後にはメキシコのカンクンで「気候変動枠組条約締約国会議(COP16)」が開催されましたが、先進国と新興国・発展途上国との対立は続いたままです。このような世界中からいろいろなセクターが集まる交流は、更なる広がりが必要であり、また期待されていることと改めて感じました。

〔2011年度6月実施〕

コンプライアンス・オフィサー/個人情報保護オフィサー認定試験のご案内

〔コンプライアンス・オフィサー認定試験〕

実施日	受付期間	実施種目	出題形式	実施時間	受験料
第24回 2011年 6月5日(日)	2011年 4月1日(金)～ 4月21日(木) 必着	金融コンプライアンス・ オフィサー1級	事例付記述式	13:30～16:30 (180分)	6,300円 (税込)
		金融コンプライアンス・ オフィサー2級	四択択一式	10:00～12:30 (150分)	4,200円 (税込)

〔個人情報保護オフィサー認定試験〕

実施日	受付期間	実施種目	出題形式	実施時間	受験料
第12回 2011年 6月5日(日)	2011年 4月1日(金)～ 4月21日(木) 必着	金融個人情報保護 オフィサー2級	三択択一式/ 事例付記述式	10:00～12:30 (150分)	4,200円 (税込)